

本日の検証について

2024年 7月 29日
広域系統整備委員会
コスト等検証小委員会事務局

- 前回委員会（6月24日）に報告した、東北東京間連系線の東京電力PGにおける工事費増額について、今後確認を進めていく。
- 2024年6月28日に中部関西間連系線の広域系統整備計画が新たに策定されたことから、今回より、調達プロセス及び工事内容（工事費・工期）の確認を行っていく

項目				2024年度			
				第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
東北東京間 連系線	鉄塔建替工事他	東京電力PG	増額内容の確認		★ 今回	★	適宜確認
中部関西間 連系線	関ヶ原開閉所	中部電力PG	調達プロセスの確認			★	適宜確認
	北近江開閉所	関西電力送配電	調達プロセスの確認			★	適宜確認
	関ヶ原北近江線	中部電力PG	調達プロセスの確認			★	適宜確認
	三岐幹線n引込	中部電力PG	調達プロセスの確認			★	適宜確認
	北近江線n引込	関西電力送配電	調達プロセスの確認			★	適宜確認
	北部変電所 短地絡容量対策	中部電力PG	調達プロセスの確認			★	適宜確認

- 中部関西間連系線について、事業実施主体である中部電力PG及び関西電力送配電から調達プロセスに関する以下の内容の説明。
 - ✓ 調達プロセスに関する基本的な考え方
 - ✓ 主要設備・主要工事ごとの発注方式の考え方
 - ✓ 適用するコスト低減策
- 東北東京間連系線における福島幹線山線鉄塔建替工事の工事費増額について、前回委員会で出た質問に対し、事業実施主体である東京電力PGから説明。

(参考) 広域系統整備計画

第13回コスト等検証小委
(2021年2月) 資料2
をもとに作成

北海道本州間連系設備

運用容量：90万W→120万kW (+30万kW)

◆新北本容量：30万kW⇒60万kW

工事完了時期：2027年度末

東北東京間連系線

運用容量：573万W→1,028万kW (+455万kW)

工事完了時期：2027年11月

中部関西間連系線

運用容量：300万W→600万kW (+300万kW)

工事完了時期：2030年6月

東京中部間連系設備

運用容量：210万W→300万kW (+90万kW)

◆新佐久間容量：30万kW⇒60万kW

工事完了時期：2027年度末

◆東清水FC：30万W⇒90万kW

工事完了時期：2027年度末

- 水力発電所
- ▣ 火力発電所
- 原子力発電所
- 変電所
- ⊗ 開閉所
- ▶ 交直変換所

